

臍帯静脈血流量を用いた自然早産予知についての検討

1. 研究の対象

2013年4月1日～2022年3月31日の間に山梨県立中央病院産科にて妊婦健診を受診し、山梨県立中央病院で分娩された妊婦

2. 研究目的・方法

研究実施期間：研究機関の長の許可日～2022年3月31日

早産は新生児死亡の主要因であるが、周産期医療の進歩にも関わらず自然早産率は減少していない。早産の機序については不明な点も多いが、分娩週数が早期であるほど子宮内炎症を伴っていることが多いとされており、子宮内炎症が自然早産の一因と考えられる。炎症では局所の血流増加がおきると考えられており、子宮内炎症にともない、胎児胎盤血流の増加する可能性が考えられる。臍帯静脈血流量は胎児胎盤血流量の評価方法として双胎間輸血症候群や胎児発育不全においては報告されているが、早産との関連性についてはこれまで検討されていない。本研究では、臍帯静脈血流量と早産との関連性を評価し、臍帯静脈血流量が自然早産の指標となりうるか検討する。

3. 研究に用いる情報の種類

- ① 患者基本情報；年齢、性別、妊娠方法、妊娠分娩回数、早産既往、妊娠糖尿病、体格
- ② 超音波検査（胎児推定体重、臍静脈血流量、子宮頸管長）、腔分泌物細菌培養検査
- ③ 分娩時情報；分娩週数、出生体重、児の性別、臍帯血 ph、Ap スコアなど

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

山梨県立中央病院 研究責任者：産科 安田 元己

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）

-----以上